

# 令和元年度 社会福祉法人 百八会 事業報告

## 1 はじめに

社会福祉法人百八会は、地域から頼られ選ばれる魅力ある施設となるため、令和元年度も基本理念に基づいた様々な活動を行った。

魅力ある施設には魅力ある人材の確保が不可欠であることから、職員一人ひとりがいきいきと働き、仕事を通じて成長できる職場環境づくりを目指すため各種研修やメンタルヘルス不調を未然に防ぐためのストレスチェック、人事考課を定期的実施した。法人全体で働き方改革に取り組み、適正かつ効果的な人事考課を行い、魅力ある人材を育成することにより介護サービスの質の向上を図り、地域の皆さまのご期待に添うべく法人の発展並びに社会福祉事業の推進に一層研鑽を積み続けたい。

また年明けより世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大し始めたことを機に、当法人でも通年のインフルエンザ等の感染症予防対策に加え、新型コロナウイルスの感染予防対策にも徹底的に取り組んだ。法人関係者で感染者は確認されていないが、引き続き、感染症の予防・蔓延防止に向けた取り組みを実施していく。

## 2 概要

### (1) 組織

理事：9名 評議員：10名 監事：2名

評議員選任解任委員：3名

### (2) 理事会開催状況

第1回 令和元年6月7日開催

議案 平成30年度 事業報告について  
平成30年度 決算報告について  
任期満了に伴う理事の選任(案)について  
任期満了に伴う監事の選任(案)について  
理事長の職務執行状況報告  
就業規則の一部改正について

第2回 令和元年6月24日開催

議案 理事長の選任(案)について

第3回 令和2年1月15日提案(書面決裁)  
議案 理事の丸山鶴雄氏の辞任に伴う理事選任議案について  
評議員選任・解任委員の丸山和奈氏の辞任に伴う次期委員  
の提案について

第4回 令和2年3月18日提案(書面決裁)  
議案 令和元年度 補正予算(案)について  
令和2年度 事業計画(案)について  
令和2年度 予算(案)について  
施設長交代(案)について  
「シルバーピア東町デイサービスセンター(仮称)」の  
施設整備(案)について  
賞与に伴う借入金について  
理事長の職務執行状況について

### (3) 評議員会開催状況

第1回 令和元年6月24日開催  
議案 平成30年度 事業報告について  
平成30年度 決算報告について  
任期満了に伴う理事の選任(案)について  
任期満了に伴う監事の選任(案)について

第2回 令和2年1月29日提案(書面決裁)  
議案 理事の丸山鶴雄氏の辞任に伴う理事選任議案について

## 3 事業所

- ・ 特別養護老人ホーム シルバーピアさくら樹
- ・ シルバーピアさくら樹 短期入所生活介護事業所
- ・ シルバーピアさくら樹 通所介護事業所
- ・ シルバーピアさくら樹 訪問介護事業所
- ・ シルバーピアさくら樹 居宅介護支援事業所

#### 4 地域福祉の推進

##### ・ 職員の派遣

地域のサロン、健康教室、老人会の集会へ職員が出向き、健康チェックやレクリエーション、講話等で協力。



##### ・ 地域行事への参加

7月末に開催された桜木東校区の夏祭りには司会者や救護、余興担当などで職員を派遣。毎年継続して参加しており、祭りの盛り上げ役としても期待されている。



11月に桜木東校区2町内主催の防災避難訓練を社協と共催した。若い世代の参加も多く「初めてさくら樹にきたが、避難場所を事前に知ることができてよかった」と取組みは好評だった。



12月には校区の餅つき大会にも参加し、地域住民と交流を深め、男性職員がつき手として協力し喜ばれた。

##### ・ 各種ボランティア受入れ

元年度のボランティア登録者数は83名。日舞、民謡、唱歌、折り紙、ちぎり絵、ちょんかけ独楽、いけばな、尺八等々、多種多様のボランティアが活躍された。



また、東稜高校 JRC(JuniorRedCross/青少年赤十字)部の学生も月に数回、入居やデイで活動を行い、フェスタにも協力。

11月には交流会を開催し、ボランティア同士や職員との交流を図ることにより、今後も充実した活動ができるよう支援した。



- ・エコキャップ収集活動  
イオン九州株式会社の「ペットボトルで世界の子どもにワクチンを届けようキャンペーン」に2008年から協力開始。職員や地域住民の協力でペットボトルのキャップを収集し、元年度は合計137.35kg（ポリオワクチン約34人分）を届けた。



- ・地域交流スペースの無料開放  
会議室、ボランティアルーム、地域交流スペースを地域に無料開放し、地域福祉推進等々の活動に活用していただいた。



- ・さくら樹フェスタ開催  
近隣に住む人たち同士やさくら樹が自然につながりを持つことにより、住民の多種多様化する福祉ニーズを把握し、地域貢献へ繋げることを目的とし、10月27日(日)に開催。若い家族連れやデイ利用者、入居者やその家族などで賑わい、第2回目は約350名の参加があった。



- ・日本財団へ寄付  
2017年より社会貢献型自動販売機「夢の貯金箱(日本財団)」を設置し、飲料1本につき10円を寄付している。  
令和元年度は45,010円を寄付した。  
寄附金は災害復興支援に役立てられる。



- ・「こどもひなんの家」に登録  
地域ぐるみで子どもたちの安全を守るため設けられた緊急避難所に登録。子どもたちは学校帰りのトイレ利用や雨宿り等で気軽に施設を利用している。



## 5 広報

- (1) 「地域交流紙さくら樹」を年4回、各1,000部を発行。  
春号(4月発行)、夏号(7月発行)、秋号(10月発行)、新春号(1月発行)  
さくら樹の出来事やイベント等のお知らせ、入居者の家族、デイやヘルパー利用者だけでなく、市内の特養や地域住民等に広く配布し、施設のPRに活用。表紙に利用者や職員の写真を掲載したことで、ご意見やご感想がより多く寄せられるようになった。ご意見は職員全体で共有し、紙面作成やその他の活動の参考にすることができた。
- (2) 法人運営の透明性確保のためインターネットを活用した。法人のホームページに定款、決算報告、役員報酬、広報紙など法人の情報を公表。熊本市のホームページには現況報告書等を公表している。
- (3) 「働き方改革」に積極的に取り組んでいる事業所やブライツ企業賞を受章した県内企業の取り組みをまとめた事例集『熊本県働き方改革事例集2019』に、さくら樹の取り組みも掲載された。



## 6 施設内研修実績

実施月	研修内容（担当部署・委員会）
平成31年 4月	さくら樹の方針について(施設長)
令和元年 5月	接遇マナーについて(CS委員会)
6月	食中毒について(感染委員会) 講師：熊本市食品衛生班
7月	緊急時対応について(労働安全衛生委員会) 講師：日赤病院
8月	認知症について(教育委員会) 講師：白川の里
9月	認知症について(教育委員会) 講師：白川の里
10月	車椅子対応車の取り扱いについて(安全対策委員会)
11月	メンタルヘルス(労働安全衛生委員会) 講師：熊本県総合保健総合支援センター

12月	感染対策について(感染対策委員会) 講師：健栄製薬
令和2年 1月	パワハラ・セクハラについて(教育委員会) 講師：ブレインスター
2月	身体拘束について(教育委員会) 講師：浅見尚美氏
3月	※新型コロナ対策で中止となる

## 7 委員会の実施状況

会議などの名称	参加職員	実施状況	会議の内容
運営委員会	理事長、本部長、施設長、幹部職員	毎月第1木曜日	各事業所の現状・問題点など
教育委員会	施設長、各部署代表	毎月第1火曜日	施設内外の教育・研修について協議、企画実施
安全対策委員会	本部長、施設長、各部署代表	毎月第3水曜日	ヒヤリハットの検証などについて
労働安全衛生委員会	施設長、各部署代表	毎月第3火曜日	職員の労働・安全・健康に関する事項
災害対策委員会	施設長、各部署代表	偶数月第3火曜日	防災計画、災害時マニュアルの整備
感染対策委員会	施設長、各部署代表	毎月第3水曜日	感染症予防、発生時の感染拡大防止
福利厚生委員会	施設長、各部署代表	随時	職員の福利厚生について
CS委員会	施設長、各部署代表	毎月第1火曜日	サービス向上のための諸問題検討、解決
苦情対策委員会	施設長、各部署代表	毎月第3水曜日	施設、職員への苦情・接遇・ご意見について
地域浸透プロジェクト委員会	各部署代表	毎月第2水曜日	行事の企画実施・広報誌・ホームページ・展示・掲示物について
ボランティア委員会	各部署代表	随時	ボランティアについて

## 令和元年度 特別養護老人ホーム シルバーピアさくら樹 事業報告

社会福祉法人百八会の基本理念に基づき、個人の尊重を基本方針として、私たちは入居者様の生活支援と健康管理に努め、日々安全で健康な生活を送れるよう援助し又、ケアの向上のため自己研鑽に努めた。

### 1 適切な生活支援

生活状況がよくわかる24時間シートの記入を大部分の介護職員ができるようになったため、入居者様の個別ケアが明確になった。カンファレンス等を行う際、家族へ入居者様の日常生活を今まで以上に知っていただけるようになった。又、職員も夜勤時の睡眠状況がよくわかるようになり、他ユニット職員も安心して夜勤が出来るようになった。

ウォーキングカンファレンスは継続して行っており、介護士・看護師と入居者様の身体状況や生活状況の情報交換を行い、入居者様の個別ケアのサービス提供に努めた。

### 2 健康管理

年に2回健康診断を行っており、結果については看護師よりご家族にお渡しし、都度疑問点等の説明を継続して行っている。又、入居者様の情報交換を密に行い、異常の早期発見に努め、身体状況を速やかに判断し、よりの確な病院受診をした。

### 3 家族会の開催

9家族12人の参加があり、施設の担当医である松ヶ迫医師より、昨今話題にあがる「腸内細菌と健康」についての講話があった。

皆様熱心に講話を聴かれ、終了後も松ヶ迫医師に多くの質問をされていた。

その後、今年も入居者様によるユニット対抗のゲームを行い、ご家族、職員の応援のもと楽しんでいただいた。

### 4 入居者状況（令和2年3月31日現在）

入居者数 49名 男性：9名 女性：40名 ※（2名入院中）

平均介護度・・・ 4.21（男性：4.00 女性：4.26）

平均年齢・・・ 89.0歳（男性：87.2歳 女性：89.5歳）

新入居者13名

男性：6名 女性：7名

老健：6名 有料老人ホーム：1名 病院：4名 自宅：2名

退居者：14名

死亡：13名（施設内：9名 病院：4名）入院継続：1名

受診の延べ回数・・・151回

入院の延べ人数・・・20名

## 5 職員の状況

### （1）委員会活動への参加

さくら樹全体の委員会、入居部の委員会活動において、委員の活動内容が積極的かつ内容が充実してきた。

### （2）研究発表を積極的に行った

職員の健康維持のため、今年は「ヘルスアップ さくら樹」という演題にし、施設全体で取り組んだ。

アンケートを取り、食事や栄養についての研修、週に1回運動を行うなどした。また結果について、第10回とうや病院グループ医療福祉研究発表会と第37回熊本県老人福祉施設研究大会にて発表を行った。

### （3）研修参加

施設外研修人数	・・・	32人
施設内研修参加者平均人数	・・・	22.8人（45.6%）
入居部勉強会参加者平均人数	・・・	33.2人（62.4%）

全体研修の参加が昨年より少なくなっているため、補講時間等を再考し補講が受けやすい環境をつくりたい。入居部勉強会においては日常業務の中でより身近なテーマを見つけ、各ユニット、入居部委員会が担当した。今年はロールプレーを多くし、2回同じテーマで30分の勉強会を施行し、自己研鑽に努めた。

## 6 感染予防

高齢施設において感染症の発症は入居者様の生活を脅かすため、感染委員の指導の下、インフルエンザ、感染性胃腸炎等、様々な感染症の予防対策を常に講じた。

（1）入居者様・職員は体調不良者、アレルギー反応等を除き、医師の判断によりインフルエンザ予防接種を受けた

（2）ケアを行う際、1ケア1手洗いの徹底。



- (3) 環境整備の徹底
- (4) 感染予防の勉強会
- (5) 11月からは出勤時にマスク着用と体温の計測
- (6) インフルエンザ流行時はご家族の面会制限を行う

今年の感染予防研修会には外部講師を招き、手洗いチェッカーを用いた手洗い実技も行った。また、今般コロナウイルス感染症の流行により、従来の感染予防対策のほか、3密を避けるべく朝礼、委員会、研修会、集団レクの中止、外部業者の立ち入り禁止やご家族の面会を禁止した。

特に手洗いは念入りに行い、換気や環境整備は従来より回数を増やした。また、人が頻繁に触れるドアノブ・椅子・テーブル等、アルコール消毒を徹底した。職員の体調管理を万全にすることが入居者様の感染予防につながるため、職員やその家族が体調不良時に気兼ねなく、仕事を休めるよう配慮した。

## 7 年間を通して

令和元年度は14名の方が退居された。その中で8名の方を施設の中で看取った。入居者様・ご家族が望まれる最期を迎えるために、ご家族と一緒にカンファレンスを行い、少しでも寄り添うケアができるよう努めた。

新しく入居された方は13名で、老健や有料老人ホーム等 色々なところから入居された。新しい環境に早く馴染まれるよう日々のケアに努めた。

又、福祉現場で介護職員不足がささやかれる昨今、今年はグループ内の異動を除くと介護職の退職は一人も無く、福祉系短大の新卒も入職し、職員数も充足していることは喜ばしいことである。今後も働きやすい職場環境作りと職員の質の向上に向けて努力したいと考える。

### 令和元年度 ショートステイ稼働率

月	利用人数(延べ)	床数	稼働率(%)
4月	118	180	66
5月	137	186	74
6月	127	180	71
7月	130	186	70
8月	135	186	73
9月	132	180	73
10月	132	186	71
11月	127	180	71

12月	149	186	80
R2年1月	150	186	81
2月	155	174	89
3月	143	186	77
計	1635	2196	75

令和元年度は当初予定していた方のキャンセルがあり、利用が伸びなかった。特に、老健とショートを3ヶ月毎に利用している方の居室を確保していたが、疥癬に感染し、利用が急遽キャンセルとなり、その後の居室を埋めることが出来ず利用が伸びなかったものと思われる。

また、2月・3月は新型コロナウイルスの影響で、「家族の予定がなくなった」「外出(して感染するのが心配)が心配」等の理由でキャンセルが相次いだ。それらに反し、週末利用希望者は居室が足りないほど多く、予約も断っている状況である。

次年度の目標としては、平均利用率80%を目標に平日の利用人数を増やすと共に、利用者が安心して過ごせ、「また来たい」と思っていただけ環境づくりを目指す。

# 令和元年度 シルバーピアさくら樹 通所介護事業所 事業報告

## 1 事業報告

介護保険法に基づき、通所介護事業の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の相談員、介護職員及び看護職員等が利用者の社会的孤立感の解消及び、心身機能の維持並びに利用者家族の身体的・精神的負担軽減を図る為、要介護状態または、要支援状態にある高齢者に対し、適正なサービスを提供した。

(営業日及び営業時間)

営業時間	月曜日～土曜日（但し12月31日～1月3日を除く）
サービス提供時間	午前9時15分～午後4時30分
利用定員	55名（平成30年5月1日より）

## 2 事業内容

### (1) 生活支援

利用者の生活状況を把握し、指導・援助を実施。(家族や利用者間の調整、自立支援のための個別プログラム、利用日の調整など)

### (2) 機能訓練

利用者のADLの評価を行い、個々の身体状況に応じてプログラム内容を策定し実施した。またグループ活動におけるゲームや行事参加などに加えて運動療法、音楽療法も実施し職員と利用者の良好な人間関係を築けるような雰囲気づくりを心がけた。

### (3) 養護

1日の利用を通じ、利用者が安全かつ快適に過ごせるよう配慮し、食事・歩行・排泄の介助、利用者の自主性や積極性を自然に引き出せるような人間関係づくりを心がけた。

### (4) 健康チェック

毎日の健康チェックは、血圧測定、体温測定、パルスオキシメーター測定や定期的な体重測定など、全身状態の把握を行い、利用者に異常があった場合は看護師による処置・適切な対応を行った。

### (5) 送迎

利用者宅の玄関からデイサービスの玄関まで(door to door)の送迎を安全に行った。

#### (6) 入浴

利用者の身体状況と希望に応じて一般浴、個人浴、機械浴、清拭、足浴の対応を行い保清に努めた。また、皮膚状態の観察を行い異常の早期発見と対応に努めた。

#### (7) 食事

個々の嗜好や健康状態に応じ、栄養の必要量をバランスよく盛り込み、行事食を企画したり季節感あふれる献立（管理栄養士が作成）で、個人の咀嚼能力（刻み食、トロミ食、ソフト食など）に応じた対応ができた。また食事前の嚥下体操、食事後の口腔ケアも実施できた。

#### (8) インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症対策や対応

年間を通して下記のことを行った。

- ①施設到着後に手洗いと緑茶でのうがい
- ②手指のアルコール消毒（来設後・昼食前・おやつ前に実施）
- ③昼食前のテーブルの消毒と拭き上げ
- ④1日2回以上の換気
- ⑤営業終了後に椅子やテーブルなどの消毒を実施

上記の他、令和元年12月初旬から職員は常時マスク着用を徹底し、利用者には送迎車内でマスク着用を徹底した。令和2年1月からはボランティア受入を中止した。

### 3 その他の活動や行事

#### (1) 機能回復訓練を目的としたレクリエーション活動の企画と実施

レクリエーションは、「集団で行うもの」「個別で行うもの」「グループで行うもの」の3通りに分け、利用者の希望によりレクリエーション活動に参加していただいた。良好な人間関係を形成していただき利用者の自主性・積極性を引き出す活動を行った。毎月のデイ会議で企画や実施後の反省点などについての意見交換を行い、次のレクリエーション活動に繋いでいった。

#### (2) カルチャー

「集団で行うもの」と「個別で行うもの」の2通りに分けて、利用者の希望によりカルチャー活動に参加して頂いた。

#### (3) ボランティアの受け入れ

地域の方の協力により、定期的に来設いただき、話し相手や外出の付き添い、日舞・民謡・唱歌・琵琶や三味線・大正琴演奏・尺八や

オカリナ演奏・ギター演奏・フラダンス・囲碁・手話ダンス・保育園の慰問、書道、絵手紙・折り紙・ちぎり絵の作品指導に来ていただくほか、月に6回（月～土）は、地域交流スペースまたはデイフロアにて喫茶さくらをオープンできた。

年末には、希望者を対象とした、しめ飾りやクリスマスリース作りを実施した。

#### （４）地域支援

近隣の地域で行われている高齢者のサロンや老人会へ参加し、血圧測定や健康相談、ゲームやレクリエーション、健康体操等を実施し地域との交流に努めた。

### 4 利用者の動向

#### （１）登録者内訳（令和2年3月31日現在）

##### ①利用者数(名)

	予防	介護	計
男性	5	30	35
女性	8	75	75
合計	13	105	105

##### 休み

入院/入所	9
自宅療養	3
計(名)	12

※3月登録者数 117名

\* 令和2年3月31日の登録者数 117名（H30年度は105名）。

そのうち12名が入院や老健施設を利用されており、実績は105名であった。

（新型コロナによる利用自粛は4名）

##### ②年齢

年齢(歳)	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
人数(名)	0	3	6	10	20	33	33	105

最年少：67歳

最高齢：101歳

平均年齢：85.8歳

男性：83.2歳 女性：86.8歳

（R2.3.31現在）

平均年齢：85.4歳

男性：82.6歳 女性：86.4歳

（H31.4.1～R2.3.31）

##### ③世帯構成

同居	独居	有料老人ホーム
77	20	8

計 105名

④要介護度

介護度	人数	計
要支援 1	5	計 13
要支援 2	8	
要介護 1	44	計 92
要介護 2	27	
要介護 3	15	
要介護 4	3	
要介護 5	3	

平均介護度：1.68 男性：1.56 女性 1.72 (R2.3.31 現在)
---

平均介護度：1.63 男性：1.51 女性 1.68 (H31.4.1~R2.3.31)
--

合計 105 名

\* 平均年齢は昨年とほぼ変わらないが、平均介護度は 0.05 減っている  
(介護 4~5 の方の利用の減少や入院の頻度が多くなっている)。  
引き続き、新規や中重度の利用者の受け入れを継続していく。

⑤関連事業所 計 45 事業所

赤とんぼ	あかり	アヤメ
ヴィラながみね	おびやま居宅	学研ココファン
看護協会くまもと	くましき	熊本ケアプランセンター
くるみケアプランセンター	ぐれいす	ケアプラス
こころ	桜十字熊本東	サンライズヒル
たくまだい熊本	トラスティホームげんき	はあとふる
ハーモニー	八王子の杜	はなもも
ヒルサイドガーデン大樹	ふれあいの里	ふくし大夢
福田ケアセンター	益城病院	みどりの樹 健軍
みどりの館	ゆうだい	ライフケアわかば
ささえりあ 尾ノ上	ささえりあ 桜木・秋津	ふれあいケア熊本
居宅あきつ	パンプキンハウス	医師会在宅ケアセンター (新)
ヴィーブル (新)	居宅 すいぜんじ (新)	熊本ケアネットワーク(新)
桜十字病院 居宅 (新)	ツクイ熊本 田井島 (新)	西日本ケアセンター (新)
在宅 S T 水前寺	ささえりあ 江津湖	シルバーピアさくら樹

\* 新規の事業所との契約も 7 件あった。

(2) 年間利用者 H 31 年 4 月～R 2 年 3 月

①月別利用者(件)

介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4 月	44	84	437	268	95	5	37	970
5 月	35	79	404	282	121	4	33	958
6 月	34	72	395	237	100	1	36	875
7 月	43	59	373	209	132	2	41	859
8 月	34	68	402	249	151	0	23	927
9 月	42	71	373	265	133	0	22	906
10 月	38	77	406	327	174	13	17	1052
11 月	31	63	391	349	152	28	18	1032
12 月	24	78	368	319	154	29	18	990
1 月	22	72	386	319	147	24	20	990
2 月	26	60	401	294	148	26	30	985
3 月	19	60	421	274	157	31	31	993
合計	392	843	4757	3392	1664	163	326	11537
平均	32.7	70.3	396.4	282.7	138.7	13.6	27.2	961.4

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
元年度	970	958	875	859	927	906	1052	1032	990	990	985	993
30 年度	892	956	891	887	937	956	1083	970	878	762	789	908
29 年度	884	999	916	930	962	963	996	962	928	808	799	955
28 年度	581	851	911	925	914	939	938	923	959	884	841	953

\* H31 年度 11.537 件 平均 961.4 件 (稼働日 311 日)

\* H30 年度 10.999 件 平均 909.1 件 (稼働日 308 日)

\* H29 年度 11.102 件 平均 925.2 件

\* H28 年度 10.619 件 平均 884.9 件 (地震の為、6 日間中止)

②月別利用者(名)

介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4 月	11	10	40	26	11	2	5	105
5 月	9	9	37	25	13	1	5	99
6 月	9	9	38	24	11	1	5	97
7 月	10	7	38	22	14	1	5	97
8 月	10	8	39	25	14	0	5	101
9 月	12	9	38	29	15	0	3	106

10月	9	9	38	31	16	2	2	107
11月	8	8	39	32	15	3	2	107
12月	6	10	42	33	15	3	2	111
1月	6	10	43	33	16	2	3	113
2月	7	9	42	28	14	3	3	106
3月	5	8	44	27	15	3	3	105
合計	102	106	478	335	169	21	43	1254
平均	8.5	8.8	39.8	27.9	14.1	27.2	3.6	104.5

元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規	8	1	1	7	6	5	7	3	5	1	1	3	48
終了	3	1	3	3	6	4	2	0	2	6	0	4	34

<入院・入所・自宅安静等> R2.3.31 12名

H31.3.31 9名

元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院等	8	9	11	15	15	16	10	8	11	12	10	14	139

\* 令和元年度は月目標 988 件、日 38 件（稼働日 26 日計算）を目標とした。  
上半期は入院などにより平均 35 件だったが、下半期は、新規も増え平均 39.2 件だった。年間では平均 37.2 件と目標まであと一歩であった。また、2 月中旬より新型コロナの影響で利用自粛される方も数名おられた。

\* 年間平均で 40 件を超えた月は一度もなかったが、今年度目標の 38 件を超えた月は下半期すべて（10～3 月）だった。今後も新規の受け入れ、利用の定着を図り、利用者の状態変化への対応を早期に行う事で、入院などを予防し、利用の継続を図っていきたい。

\* R2 年度は、月目標 1092 件、日 42 件（稼働日 26 日計算）を目標とした。  
2 月中旬より新型コロナの影響で利用自粛の利用者が徐々に増えてきているため、推移を見ながら、自、他居宅への営業も再開していく。

\* 平均で新規 4 件、終了・中止 2.8 件と新規が上回った。



## 5 令和元年度年間行事

※ 随時 毎月誕生会

	行 事	行事食及び特別献立
4月	・お花見 4/2~4/5 ・家族会 (H30年度) 4/13	・セレクトおやつ 4/23
5月		・セレクトおやつ 5/21
6月		・セレクトおやつ 6/20
7月	・七夕祭り 7/7 ・自衛隊見学 7/16~7/19	・七夕食 7/6 ・セレクトおやつ 7/26
8月		・セレクトおやつ 8/17
9月	・敬老会 9/14・16 ・飾り馬 9/14 ・家族会 9/28	・おやつ作り「水ようかん」9/3 ・祝敬老食 9/14~21 ・セレクトおやつ 9/28
10月	・家族会 10/5 ・コスモス見学 10/12~10/16	・セレクトおやつ 10/28
11月	・文化祭 11/1~30	・寿司バイキング 11/1
12月	・Xmas リース、しめ飾り作り 12/12~13 ・ゆず湯 12/21 ・クリスマス会 12/25	・クリスマスオードブル 12/25
令和2年 1月	・初詣 1/15~21	・祝新年食 1/9~1/10
2月	・節分 2/3	・恵方巻き 2/3
3月	・おひな祭り 3/3	・ちらし寿司 3/3

\* H31年度は、H30年度と同様に4グループ（季節ごとに）に分け、行事を行う事にした。R2年度もH31年度と同様に、業務改善や職員の負担軽減を図りつつ、行事等の充実を図っていく。

## 6 職員（新人）内部研修（第1木曜日）

4月	・通所介護事業所の契約について理念、法令遵守について
5月	・車両の操作方法について
6月	・ハンドマッサージについて
7月	・シャンプーについて
8月	・片頭痛について
9月	・パーキンソン病について
10月	・経過記録の書き方について
11月	・レクリエーションについて

12月	・めまいテストについて
令和2年 1月	・爪の異常について
2月	・回復、維持期を考える会（外部研修）
3月	・各自、自学研修（新型コロナの影響による中止）

\* 専門職としての資質向上と、より良いサービスの提供を目指し、職員の連携を大切にした研修会議を行った。他、施設内研修や外部研修にも参加した。必要に応じて業務の見直しも行った。

## 7 地域行事・サロン

4月12日	山ノ内1町内サロン
6月27日	山ノ内3町内サロン
7月27日	桜木東校区 夏祭り
10月29日	山ノ内2町内サロン
11月28日	社協サロン講習会 講師
12月23日	桜木校区 もちつき
R2年1月14日	山ノ内4町内サロン

## 8 まとめ・総括（次年度に向けて）

令和2年度の目標は下記の通りとし、目標を達成出来るよう事業所一丸となって取り組んでいく。

- ①目標平均 42 件/日、1092 件/月
- ②整理・整頓
- ③報・連・相の徹底
- ④地域行事への参加・交流または外部研修会への参加（全スタッフ年1回以上）

## 令和元年度 シルバーピアさくら樹訪問介護事業所 事業報告

### 1 事業報告

社会福祉法人百八会の訪問介護事業所は、基本方針を基に事業運営に努めた。利用者が安心してすこやかに生活していただける環境の提供を目指し、事業所と在宅・地域との連携を取りながら事業推進を図った。

また、地域に根ざした幅広いサービスの提供と、法人施設全体のスケールメリットを生かした事業展開を行なった。

- (1) 利用者本位で、尊厳のある生活を守り、自立を目指した生活支援に努めた。(ADLの維持・向上と、高いQOLの実現)
- (2) 利用者が日々健康な生活を維持できるよう健康管理に努めた。
- (3) 保健・福祉・医療の各関係機関との連携を密にし、サービス提供責任者と訪問介護員のサービスの質の向上を図った。
- (4) 専門職を高めるため各自自覚をもち、自己研鑽に励み、理論的な裏付けに基づいたサービスの方法・技術の向上に努め、質の高いサービスが提供できる人材の育成を目指した。
- (5) 利用者一人ひとりの嗜好に応えられるよう勉強し、支援した。
- (6) 掃除等、家事については、利用者の出来ないところの支援を行い保有能力を活かせるように支援した。

### 2 活動報告

・サ責（サービス提供責任者）ネットワーク委員会として、毎月第3水曜日勉強会開催

・企画と運営状況は以下の通り

- (1) 令和元年7月7日(日)

「第6回 熊本地区サ責研修会」

テーマ：「今、ヘルパーとして確認しておきたいこと 知っておきたいこと ～クライアントハラスメントへの対応及び見守りの捉え～

講師：田形 隆尚先生

場所：西日本病院

- (2) 令和元年 10 月 19 日 (土)  
テーマ:「仕事もプライベートもより良くする (アンガーマネジメント)」  
講師: 藤原 千晶先生  
場所: 熊本市男女共同参画センター はあもにい
- (3) 令和元年 11 月 24 日 (日)  
熊本東区役所にて開催された「熊本東区市民祭り」に参加  
ブースでヘルパーさんの魅力を発信し、茶碗蒸し 150 食の試食会を実施

#### その他

令和元年 7 月 26 日 (土)  
「桜木東校区夏祭り」に参加  
余興と地域の方に訪問介護の魅力を発信

令和元年 10 月 27 日 (日)  
「さくら樹フェスタ」にて訪問介護の PR 活動  
簡単茶碗蒸し試食配布と時短料理の実演と試食会を実施

- 3 訪問介護員 (登録ヘルパー) 勉強会報告 (登録ヘルパー 16 名)
- 4 月 各自目標設定、法人の理念説明
  - 5 月 病気についての知識と正しい薬の飲み方、腰痛体操
  - 6 月 介護保険上、ホームヘルパーの出来る事、出来ない事
  - 7 月 救命救急講習会開催 (緊急・救急時対応の手段の検討)
  - 8 月 訪問介護接遇研修
  - 9 月 調理実習 (嚥下障害がある方に適した料理など)
  - 10 月 認知症を正しく理解する
  - 11 月 動作介助・排泄介助などの身体介護の手順
  - 12 月 感染予防
  - 1 月 メンタルヘルス勉強会
  - 2 月 リスクマネジメント
  - 3 月 各自の一年間の目標達成について自己評価
- 4 研修会等参加のまとめ  
訪問介護員の質の向上を目的として勉強会を重ねていくなかで、今年度は

2名のスタッフが実務者研修のプログラムを終了した。この実績をもとに専門職として、訪問介護での困難事例や身体介護を重点とする利用者につながることができた。誰もが安心して在宅生活が続けられるような支援ができる訪問介護事業所を目指し、今後も訪問介護員の一人ひとりが知識・技術の向上を目指していきたい。

5 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 2月、訪問スタッフにマスク、手指消毒の徹底
- (2) 4月中旬、利用者とその家族、各関係者に対し「新型コロナウイルス感染症対策についてのお願い」の書面を配布

6 年間を通して

常勤職員の入替りにより、新しい環境のもと働きやすく働き甲斐のある職場作りを目指してきた。次年度もムダをなくし効率よく、そして実績アップに繋がるように努力する。

# 令和元年度 シルバーピアさくら樹居宅介護支援事業所 事業報告書

## 1 事業報告

- (1) 高齢者が要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで送れるように、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの実現に向けて関係先と連携して支援した。
- (2) 地域の自治会や老人会などを通して、地域の方々の介護予防・健康増進に務めると共に、要介護認定を受けられた利用者及び、家族の生活を支援し、在宅介護をはじめとした総合相談に応じるよう努めた。また福祉サービスの提供及び社会資源の有効活用が出来るよう、市町村保険者、地域包括支援センター、保健・医療・福祉サービス提供機関との連絡調整を行った。
- (3) 2月から新型コロナウイルス感染拡大防止のため、できるだけ他者との接触を行わないように関係事業所とは電話・FAXでの連絡を行い、モニタリング訪問時は事前に電話で情報を得て訪問の不可を確認し、マスク着用を行い、アルコール除菌剤持参で時短での面談を行った。また、広範囲で利用者のサービスが停止した場合、受け皿となる他のサービスが不足することを想定して利用者の身体状況や環境などを整理し、緊急時の対応の分類の準備・検討を行った。

### (4) 営業日及び営業時間

営業日	月曜日～土曜日（日曜日、祝祭日は除く） 年末年始（12/31～1/3まで）
営業時間	午前8時30分～午後5時 午前9時30分～午後6時（土曜日除く）

## 2 事業内容

- (1) 在宅介護に関する全般的な相談
- (2) 居宅サービス計画、予防サービス支援計画の作成
  - ① 利用者へサービスの選択に必要な情報を提供
  - ② 利用者を支援する上での課題の把握と利用者及び家族への説明
  - ③ サービスの目標、達成時期を盛り込んだ居宅サービス計画の作成
  - ④ サービス担当者会議の定期的開催、担当者との連絡調整
  - ⑤ サービス計画書に対する利用者の同意
  - ⑥ サービスの実施状況の把握と評価
- (3) 行政・地域包括支援センターとの連携
- (4) 医療・福祉との連携

- (5) 新しいサービス、施設等の情報収集
- (6) 医療・介護・福祉に関連した研修
- (7) 地域活動の支援（サロンや老人会への参加、協力、支援）

### 3 新規利用者紹介先

ささえりあ、託麻台病院、西日本病院・水前寺とうや病院、平成とうや病院  
 有料老人ホーム、家族・知人、他居宅事業所、サービス事業所  
 要支援より要介護へ更新等（55件）

### 4 研修報告

- (1) 事業所内の困難事例検討（毎月）
- (2) 他法人の運営する居宅介護支援事業所との共同事例検討（3ヶ月に1回）
- (3) 課題共有型地域ケア会議・自立支援型の地域ケア会議（毎月）
- (4) 東区主任ケアマネジャー会議（3ヶ月に1回）
- (5) 熊本市認定調査員新規研修（令和2年7月）
- (6) 自立支援型のケアマネジメント研修経験5年未満（2月）
- (7) 認定調査員現任フォロー研修（2月）

※その他施設内研修（毎月）、ミーティング（1回/週）等も行っている。

※ケアマネジャーの新人研修等は更新研修に含まれたため、回数は減少しているが事例検討会議などは多くなり、参加することで研修の場となっている。

### 5 利用者実績(比較)

R元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援	19	17	18	24	25	24	23	23	21	22	24	22	262
要介護	122	126	126	124	122	131	133	137	146	152	149	149	1617
合計	141	143	144	148	147	155	156	160	167	174	173	171	1879
H30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援	16	15	14	14	13	14	14	13	11	12	15	18	169
要介護	108	106	104	104	106	104	109	109	106	94	98	116	1264
合計	124	121	118	118	119	118	123	122	117	106	113	134	1433

（次年度に向けて）

入院や入所・死亡等で利用者の減少する月はあったが、新規利用者獲得もあり31年度の登録者数180人の目標達成ができた。次年度は新しい事業所の開設も控えており、より多くの新規利用者獲得に向け、グループ病院や包括支援センター及び、地域の病院、事業所、施設等と連携を図っていききたい。また新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になっている地域サロンや老人会が再開した時には積極的に参加していききたい。